



最新の技術や製品などが集まる農業専門の展示会 アグロ・イノベーション2019が開催！

アグロ・イノベーション2019

- 期日：11月20日(水)～22日(金)
- 場所：東京ビッグサイト 西展示棟3・4ホール
- 主催：一般社団法人 日本能率協会
- 内容：農作物の生産、収穫、選果、加工等における技術の展示会、各種セミナー 等

東京ビッグサイトで5つの農業専門展示会が同時開催！

「アグロ・イノベーション」は、1986年に日本で初めての農業展示会として発足しました。施設園芸をテーマに発足し、2004年に流通分野を、2008年にIT分野を取り入れるなど、時代に合わせて年々出展の幅が広がられています。また、今回は「野菜・果物ワールド2019」「第2回鳥獣対策・ジビエ利活用展」「フローラル・イノベーション EXPO2019」「第1回草刈り・除草ワールド」といった4つの展示会が同時開催されました。このうち、「フローラル・イノベーション EXPO2019」「第1回草刈り・除草ワールド」については、今回が初開催となる新しい展示会になります。

開催期間中の来場者数は、同時開催された4つの展示会も含めた合計で11,489名となり、全国から非常に多くの農業関係者が来場しました。

また、会場では、企業などによる最新の農業資材や製品、サービス等の展示や説明が行われたほか、セミナールームではGAP認証やSDGsなど現在注目を集めている話題を始め、野菜や果物の今後のトレンドや農業の働き方の変革についてなど幅広いテーマでの講演も行われ、多くの来場者が足を運んでいました。



選花機や輸入切り花の展示
(フローラル・イノベーション)

隣接会場でアグリビジネス創出フェアも同時開催！ 様々な研究機関や大学が研究成果を展示！

隣接した会場では、農林水産省主催の「アグリビジネス創出フェア2019」も開催されており、相互に出入りが可能となっていました。「アグリビジネス創出フェア」では、農研機構や各県の試験研究機関、大学等がブースを出展し、それぞれの研究成果等についての展示を行っていました。本県からは、群馬大学健康科学教育研究センターと高崎健康福祉大学農学部が出展を行っていました。

近県では、栃木県農業試験場が新品種「ミルキーベリー」と「栃木 i37 号」に関するパネル展示と「栃木 i37 号」の試食提供を行い、来場者の注目を集めていました。「栃木 i37 号」は、「とちおとめ」よりも収穫開始が10～19日早く、収量も30～40%程度多い新品種で、今年の10月下旬から販売が開始されています。また、現在は「栃木 i37 号」の名称決定に向けて、購入者を対象に名称候補への投票キャンペーンを行っており、投票は「栃木 i37 号」の包装フィルムに掲載されているQRコードから専用サイトにアクセスすることで行えるとのことでした。

また、茨城県からは茨城県農業総合センターが出展し、同センターが日本製粉株式会社と協同開発した、イムノクロマト法によるTYLCV(トマト黄化葉巻ウイルス)簡易診断キットの展示を行っていました。このキットは、トマトの重要病害であるトマト黄化葉巻病について、生産現場での簡易で迅速な診断を行うことが可能なものであり、今後、生産現場での活用が期待されます。

この他に、東京都や奈良県などが出展を行っていました。



試食提供された「栃木 i37 号」



TYLCV 簡易診断キットの展示